

第4回岡谷市公共施設のあり方検討市民会議

平成19年8月29日19:00～

諏訪湖ハイツ202会議室

1 開 会

2 市民憲章唱和

3 あいさつ

4 確認事項

- * ホームページでの会議内容の公開について
- * 前回までの議事録の確認について
- * 同 意見募集について

5 協議事項

1) 指定管理者制度の導入効果について

(導入後の経費節減などについて、事務局から説明)

委員： ロマネットのところで、振興公社がやっているから市の持ち出しはないという説明があったのですが、結局振興公社もまったく関わっていない団体ではないものですから、赤字が膨らんできた時には、市のほうで負担をするようになるんじゃないかと予感してしまうのですが、そのへんをよく考えていただきたい。

事務局： 市に属した団体にはなりますが、振興公社の経営自体に対して市が補うということではなく、公社の赤字は公社として次年度に繰り越して公社の中だけでやり繰りするような仕組みになっています。振興公社も色々な公園の管理をするなど、色々なことをやっているの、色々な事業の中のある面で赤字ができれば、ある面で黒字になってやり繰りしています。基本的にはそういう形になっています。

委員： ロマネットはそんなに収支は悪くないのだけれども、結局他の振興公社が指定管理者になっているものは、市の方から委託料をお支払いしてやっていると思うものですから、1年赤字の分は繰越というふうになると思うのですが、結局それが何年もたつと膨らんでいるような気がします。

事務局： ロマネットは300万円ほどの赤字ですが、食堂で黒字が300万円出ればそれで穴埋めされます。会社の経営的なやり繰りをしていくという形になります。黒字を出すというのは容易なことではなく、色々な努力をしないと振興公社として黒字を出すというのは難しいですけどもその努力はしていきます。

事務局： ロマネットは以前黒字でした。17年度から赤字で、振興公社がいろいろ見直し、料金などを決めます。すわっこランドの影響もあると思います。本来このような施設は黒字が基本ですが、委員さんが心配しているのは、赤字が膨らんだ時、最終的には市の持ち出しになる心配だと思います。その時は振興公社のあり方を検討することになると思います。今の段階では企業として黒字経営になるように、

市へも報告していただくことになっています。

委員長：財団として、経営は議会に報告していますし、財団のあり方も今後の大きな課題になると思います。

委員：同じロマネットのことなのですが、施設の改装費とか修繕費は公社が出しているのか、市が出しているのかお伺いしたい。

事務局：規模的にも色々なものがありますが、小規模なものは管理委託を受けている公社が対応するようになっています。大規模な修繕・改修については市が直接対応しています。それは案件が出てきたときにその都度内容を精査して必要な改修をしていくという形になっています。今まで、空調が悪い・洗い場を増設するというようなこともありました。施設ごとに一定の額のルールというものがあまして、50万円以上の修繕については市で行う、50万円以内のものであれば業者で行うというルールも決めながらやっています。

2) 施設の分類（必需度と採算）について （前回の続き） （公共施設のあり方検討シートでの分類作業→C列から）

（分類作業終了後）

委員長：場所はこれで決め、何かあったら次回意見を言うていただくことにします。C-3にある施設を討議の対象にしようと考えていましたが、この表で点数を付け、さらに付加点を合算し、計算することによってトータル的にもものさし作りとしたらどうかと考えています。点数のつけ方も、左上を5点、下に行くほど4-3-2とし、右下を1点とするような形はどうでしょう。

3) 「必要度・採算性」に続く基準について

- * 考慮すべき要素について
→分類作業終了後に説明済み
- * 検討（統合・廃止・縮小・改善）施設の絞込み（全施設は難しい）
→終了時間になったため、次回に検討予定。

4) 個別施設のあり方検討について

→終了時間になったため、次回に検討予定。

5) その他

- * 施設利用者の意見について

→終了時間になったため、次回に検討予定。

6 閉 会

- * 次回の進め方について
- * 次回開催について 9月19日（水）